

令和 6 年度
キャリア教育全体計画 (学校番号 18) 山梨県立 山梨 高等学校 全日制

<p>生徒の実態</p> <p>地元のみならず、県内各地から通学する生徒が多い。大学・短大から専門学校・就職まで多様な進学希望を持っている。大らかで穏やかな生徒が多いが、自己肯定感が高くない傾向がみられる。</p>	<p>教育目標・目指す生徒像・スクールポリシー等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの本質に迫り、自ら考え、判断し、表現できる生徒を育てる。 ・誇りと気概を持ち、自他を敬愛する豊かな心を持つ生徒を育てる。 ・生命や人権を尊重し、心身共にたくましい生徒を育てる。 ・地域や保護者に信頼される学校づくりを目指す。 	<p>地域の実態</p> <p>本校同窓生が多く居住し、本校の教育活動に対する関心も高い。農業従事者も多いが、若年層の県外への転出率も比較的高く、継承する若手の人材不足が顕著になりつつある。</p>
<p>保護者の願い</p> <p>望ましい集団生活を通し、他者を思いやることのできる想像力・感性が身についた、健康でたくましい子供に育てほしいと願っている。</p>	<p>キャリア教育全体目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多岐にわたる生徒の進路希望実現に向けて、生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細かい指導を行う。 ・各教科の学習を通じて、教科の学びと将来の職業とが結びついていることを理解できるような学習活動を行う。 ・「総合的な探究の時間」と各教科・科目が連携して、SDGsを主軸とする充実した探究活動を行う。 ・地域や企業と連携したインターンシップに参加し、正しい勤労観・職業観を育み、肯定的自己理解と自己有用感の獲得に努める。 	<p>地域からの期待</p> <p>地域に根ざし、地域の将来を担う人材を育成することが期待されている。進学のために県外に出て、将来的には地元に戻って地域を支える人材を育てることを期待している。</p>

キャリア教育で目指す生徒像・身に付けさせたい力(基礎的・汎用的能力を基本にして)

<p>目指す生徒像 ① 自己の将来に向けて、目標を持ち、その目標を達成する道筋を考え、実行する生徒 ② 物事に主体的かつ創造的に取り組む態度が身に付いている生徒 ③ 職業観・勤労観をしっかりと持ち、「生きる力」が身に付いている生徒</p>			
<p>他者の考えや立場を理解し、相手の意見を踏まえつつ、自分の意見が言える力</p>	<p>自己の能力・適性を理解し、他者との関係に配慮しつつ、それを前向きに伸ばそうとする力</p>	<p>将来設計について、多面的・多角的に情報を集め検討することができる力</p>	<p>多様な職業観や働き方への理解を深め、職業・勤労に対する認識を深める力</p>

<p>中心となる活動内容</p> <p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動 ・生徒会活動 ・学校行事 ・校外学習 	<p>キャリア教育・各学年の主な取り組み</p> <p style="text-align: center;">1学年</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「総合的な探究の時間」での活動を通じて、自分自身についての理解を深め、職業や、自己の在り方や生き方について考察し、自己実現を目指す態度を養う。 ② 各教科での学習を通じて、各自が自分自身の将来像を考える中で学習習慣を身につけ、自ら課題を発見し、試行錯誤しつつ、その課題を解決する能力を養う。 ③ 上級生、卒業生、専門家などの講話を聞き、自己の在り方や生き方について考察し、自己実現を目指す態度を養う。 ④ 施設見学活動を通して、SDGsの達成のために努力している企業や地域への関心を深めたり、新聞活用学習を通して情報を収集し、適切に利用したり、判断したりする力を養う。 ⑤ NIEの活動を通して社会に関心を持ち、情報を活用し、主体的に「思考」「判断」「表現」する力を養う。 <p style="text-align: center;">2学年</p> <ol style="list-style-type: none"> ① インターンシップの準備や実施を通して、職業観や勤労観を確立し、一連のプロセスを通し、社会や自己の将来に対する認識を深める。 ② キャリア講座や講演会を通して、将来設計についての情報を収集し、検討する力を養う。 ③ 協働的な作業を取り入れながら九州研究を進め、視野を広めつつ、他者の様々な立場、状況を理解し、自己の考え方や意見を発信することができる力を養う。 ④ 将来設計を考える中で主体的に情報収集、学習を行い、自ら課題を発見し、試行錯誤しその課題を解決する能力・態度を育てる。 ⑤ NIEの活動を通して社会に関心を持ち、情報を活用し、主体的に「思考」「判断」「表現」する力を養う。 <p style="text-align: center;">3学年</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 小論文講座や面接講座、また時事問題演習を行い、自己の能力・適性を理解し、それを前向きに伸ばそうとする力、自己実現を目指す態度を養う。 ② 少人数ゼミにより、職業・勤労に対する認識を深め、自ら課題を発見し、その課題を解決する力を養う。 ③ レポート作成や発表会で、他者の意見や立場を理解しつつ自己の生き方を考察し、自己の考え方や意見を発信する力を養う。 ④ 講演会やオープンキャンパス、企業訪問等を通して、情報を収集活用して、判断する力を養う。 ⑤ NIEの活動を通して社会に関心を持ち、情報を活用し、主体的に「思考」「判断」「表現」する力を養う。 	<p>中心となる活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨や地域を学ぶ活動、地域や家庭との連携 ・教科、学校設定科目等との連携など ・職場体験 ・地元で活躍する職業人による講話 ・県内の各種施設見学 ・「総合的な探究の時間」における山梨学ゼミ ・地域清掃活動 ・ろう学校との交流
<p>総合的な探究の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路講演会 ・新聞活用講座 ・職業人インタビュー ・職業人講話 ・合格者に聞く会 ・キャリア講座 ・インターンシップ ・九州研究 ・分野別課題研究 	<p>評価方法等</p> <p>○各学年での「取り組み」についての評価(身に付けさせたい力が身についているか)</p> <p>1学年 ENAGEED PROJECTでの研究報告書作成、アンケートの実施、キャリア・パスポートの活用</p> <p>2学年 インターンシップの体験報告レポート、アンケートの実施、キャリア・パスポートの活用</p> <p>3学年 オープンキャンパス参加のレポート作成、アンケートの実施、キャリア・パスポートの活用</p>	